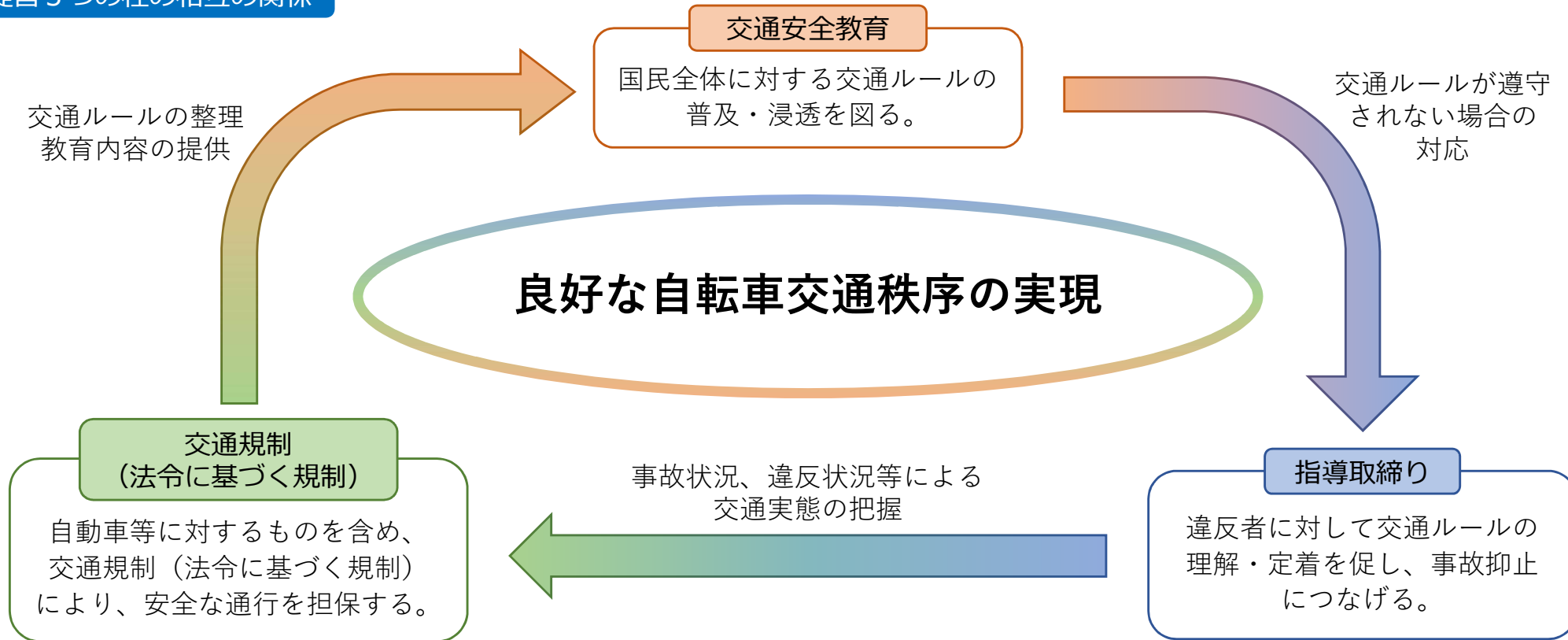


本提言 3つの柱の相互の関係



自転車交通政策の将来像

本提言に基づく内容を遂行していきながら、次の観点から、自転車交通政策に関する不断の検討を続ける。

- 将来を見据えた、こどもへの安全教育に対する社会全体の関わり方 (官民協議会におけるガイドラインの不断の見直し 等)
- 分かりやすい・守りやすい交通ルール・マナーの整理・発信 (駐車車両回避時の配慮、合図義務 等)
- あらゆる交通主体における自転車の「車両」としての認識の醸成 (自転車専用信号 等)

⇒ 自転車・自動車・歩行者等すべての交通主体が安全・快適に通行できる交通社会の実現を目指す。

**自転車事故のない安全安心な社会の実現を通じて、自転車の活用推進に貢献**